

おかざき 市議会だより

12月定例会

平成23年2月1日発行

国の円高・デフレ対策に対応する補正予算など
市民生活に密着した活発な質疑を展開



No. 156

目次

- 市長提案説明…………… 2
- 議案審議…………… 3
- 討 論…………… 4
- 議案・請願・陳情審議結果…………… 5
- 一般質問…………… 6～11
- 3月定例会予定、政府などへの意見書 12

市長提案説明



の大幅な増が見込まれ大変厳しい状況である。23年度の予算編成においても、22年度以上に事業の中止、凍結、延期が予想される。市民生活への影響が懸念されるが、英知と創意工夫により影響が最小限となるよう努める。

主要事業

22年10月1日に五つ目の「森の駅」としてオープンした、こども自然遊びの森「わんPark」は、子どもが遊びを通して自然を身近に感じる心を育むとともに、生物多様性の重要性を学べる場となるよう期待している。

新一般廃棄物中間処理施設の建設では9月下旬に本体工事がほぼ完成、11月10日に溶融炉に火入れを行い、下旬よりごみを受け入れの試運転を開始した。工事の進捗率は95%程度で、今後、性能試験や外構工事などを行い、23年6月の完工を目指す。

小中学校の耐震補強事業は、19年度に完了した屋内運動場に続き、校舎についても、建て替えを予定している豊富小学校を除き、23年2月完成予定の額田中学校をもつてすべての校舎の耐震化が完了する。

当初、24年度での完了予定を、2年前倒して完成することができた。バス路線対策事業では、10月1日より東部地域のバス路線の延伸を行った。これは地域の特性や需要の変化に対応する改善で、山中学区総代会が主体となって60歳以上の沿線住民へのアンケートを実施するなど高齢者の視線で見直しを進めたものである。

東岡崎駅周辺整備では、第1期工事の第一段階となるバリアフリー化が実現し、12月24日正午から仮改札口による暫定利用が開始され、市内の主要な駅のバリアフリー化が完了する。

諸議案

条例議案としては廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の改正など12件と廃止条例1件を合わせて13件、その他議案としては宮崎と形埜の両郵便局に本市の特定の仕事を取り扱わせる指定議案などの28件を提案した。

補正予算は一般会計が22億3千百余万円の増額、特別会計では1億9千9百余万円の増額、企業会計では6千6百余万円の減額補正である。

○12月定例会の動き

1日	本会議 開会、会期決定、 市長提案説明
2日	本会議 一般質問
3日	本会議 一般質問
6日	本会議 一般質問
8日	本会議 議案説明、総括質疑、 委員会付託
10日	経済建設委員会 福祉病院委員会
13日	環境教育委員会 総務企画委員会
14日	行財政改革調査特別委員会
16日	議会運営委員会
20日	本会議 委員長報告、質疑、討論、 採決 追加議案の説明、質疑、 討論、採決 閉会

●説明の要旨

図書館利用者の個人情報流出については、本市へ図書館システムを納入した会社が、本市の個人情報が残ったプログラムライブラリを製品版として他の図書館に納入したことなどにより発生した。個人情報流出した利用者には、システム納入会社と図書館より説明とおわびの文書を送付した。併せてシステム納入会社からは「個人情報取り扱いの重要性を再認識し、更なるセキュリティの強化を図るとともに、プログラムライブラリの管理手順の再点検を含めた再発防止に取り組む」との報告を受けた。個人情報流出はあってはならないことで、二度と同じようなことが起こらないよう再発防止に努める。

本市の平成23年度の財政状況は、歳入の基幹となる市税収入で若干の増収が見込まれるものの、歳出

議案審議

協議会の廃止に関する協議

◇岡崎額田地区広域市町村圏協議会の廃止に関する協議

地方自治法第252条の6の規定により、平成23年3月31日限りで岡崎額田地区広域市町村圏協議会を廃止することについて額田郡幸田町と協議するもの。
質疑 協議会の廃止に至る経緯について伺う。

答弁 額田町との合併により、幸田町と1市1町の協議会となり、その意義が低下したことや住民ニーズの多様化、生活圏が広がりをみせる中で、岡崎額田圏域においても都市計画区域の拡大、再編など圏域を超える動きがあり、これに対し効果、効率も期待しづらくなってきた。更に、国においても20年度には、広域行政圏施策は当初の役割は終えたものとして廃止、今後の広域連携については、定住自立圏構想など関係市町村が自主的な協議に基づいて取り組むこととの旨が示されている。

公の施設に係る指定管理者の指定

◇竜美丘会館

指定管理者として岡崎パブリックサービス・サンエイ共同事業体を指定するもの。

▼指定期間 平成23年4月1日から平成28年3月31日まで
質疑 今回の指定管理者の提案の中で、特に市民に対してのサービス向上につながるものについて伺う。

答弁 利用者を事前に会場まで案内し当日の準備に不足がないか、また備品など必要なものがないかどうかを確認するというホテルのコンシェルジュサービスのようない形を提供していく提案や、喫茶・レストラン業務を今回から指定管理業務の一つととらえ、ホールや集会室の利用に際し、飲食関係を一括でパックにすることに引き分けを図るような提案があり、今後、市民に喜ばれる提案ではないかと考える。



竜美丘会館

条例の一部改正

◇消防団条例

地域防災体制の充実を図るために、機別別消防団員制度を導入するとともに、消防団の区域を改めるもの。

▼平成23年4月1日から施行
質疑 機別別団員制度の導入の理由は。また、導入地区と採用人員について伺う。

答弁 消防団員のサラリーマンの割合が高く、平日昼間の火災に即応することが困難な状況となっている。更に市内山間部の一部地域では8分消防体制が達成されていない地域が存在することから、導入地域における平日昼間の火災への対応を強化することを目的に、消火活動に従事できる団員を確保するため、消防職員と消防団員のOBによる組織を導入する。導入地域は、岩津消防団の奥殿町以北を管轄する区域と額田消防団全域で、50人の定員を充足するよう入団を働きかけていく。

補正予算

○平成22年度一般会計補正予算(第4号)

◇農林業費

質疑 鳥獣害対策事業費補助業務の補助金の補正の必要性和補正額

について伺う。

答弁 22年5月より23年2月まで、電気さく等の材料費の半額を補助する事業を行ってきた。しかし、イノシシの出没地域の拡大により申請が増えたこと、昨年度までは農林業団体のみの申請であったものを今年度から農林家であれば個人申請できるように要綱を変えたことなどにより、当初予算を使い切る申請を受け、現在受け付けを止める状態になっている。しかし、まだこの補助金の要望が非常に強く、また被害も多く出ているので、今回103万2千円の増額補正を行い早急な被害防止に役立たせたいと考えている。

平成22年度12月補正予算

(単位: 万円)

	補正前	補正額	補正後
一般会計	11,945,342	253,547	12,198,889
特別会計	6,530,740	19,922	6,550,662
企業会計	3,040,879	△6,639	3,034,240
合計	21,516,961	266,830	21,783,791

(12月追加補正後の予算額)

討
論

本会議最終日に各委員会審査の委員長報告を受けて、各党派等が賛成、反対の意見を述べ、賛同を求めました。

市長提出議案

○『事務分掌条例の一部改正』

自民清風会 は、「ワンストップサービスの推進や厳しい財政状況を踏まえた歳出の抑制など、市民の利便性の向上や市民負担の軽減を目指すものと受け止める。めまぐるしく変化している社会経済情勢の中で、今後も常に市民目線に立った行政運営の見直しを要望する」と意見を述べ、賛成した。

ゆうあい21

は、「的確な指揮命令体制、分かりやすく利便性の高い窓口体制、迅速で確実な現場体制を確立することは最終的に市民に対し質の高い行政サービスの提供につながる。組織移行時はトラブルが発生しやすいことから、業務の執行に支障のないよう要望する」と意見を述べ、賛成した。

公明党

は、「新設される文化芸術部は、新文化会館建設のほか、芸術文化の創造に向け、歴史と文化の地にふさわしい戦略的な施策展開に期待する。また、建築部は、



市役所

建築物や施設の一元管理など中長期的な維持管理計画を策定し施設管理の効率化を進められたい」と意見を述べ、賛成した。

無所属・日本共産党

は、「支所を課に格上げすることは、コミュニティ活動支援を含めた支所機能の見直しによるためだが、支所単位とする広域コミュニティについて何ら住民合意はなく、形式が先行することは市民自治ではない」とし、反対した。

○『地区計画の区域内における建築物制限条例の一部改正』

自民清風会

は、「都市計画決定された地区計画の一部内容を建築物制限条例として定め、担保制を確保するもので、それぞれの地区の特性に応じた土地利用の実現と、市街地環境の維持増進が図られることを期待する」と意見を述べ、賛成した。

ゆうあい21

は、「住宅事業者の取り組みや住民の意識の高まりの中で、住民の手によるまちづく

りが可能になる。今後も必要に応じて指定し、住みやすい岡崎のまちづくりを推進するよう要望する」と意見を述べ、賛成した。

無所属・日本共産党

は、「浸水する地域やその上流にある地域に地区計画をかける条例で、開発区域全体の貯留池だけでなく、各戸に浸水対策施設を設置することを義務付けできる方策を考えられた」と意見を述べ、賛成した。

○『平成22年度一般会計補正予算(第4号)』

自民清風会

は、「本市独自の高齢者生きがい施設整備等必要な個所にしっかりと補正がなされ、社会保障に配慮した補正であると理解する」と意見を述べ、賛成した。

ゆうあい21

は、「民生費では生活保護費や土地購入費など、衛生費では新型インフルエンザワクチン接種費補助金など必要な施策に有効的に執行する予定と理解する」と意見を述べ、賛成した。

公明党

は、「生活保護費の増額や、保険料の抑制のための国民健康保険特別会計への一般会計繰り出し金の増額など、現在の経済情勢を反映したものと理解する」と意見を述べ、賛成した。

無所属・日本共産党

は、「先の臨時議会で可決された人事院勧告に基づく職員給与の減額が含まれている」とし、反対した。

年間の議会活動 平成22年中

本会議開催状況

会議名	会議日数	質問者数		討論者数
		代表質問	一般質問	
3月定例会	7日	3人	—	6人
6月定例会	6日	—	22人	4人
9月定例会	6日	—	17人	4人
12月定例会	6日	—	17人	5人
定例会小計	25日	3人	56人	19人
11月臨時会	1日	—	—	1人
臨時会小計	1日	—	—	1人
本会議合計	26日	3人	56人	20人

本会議審議状況

市長提出議案	166件
条例	49件
予算	57件
決算	3件
その他	57件
議員提出議案	15件
条例	1件
意見書	11件
その他	3件
請願	8件
選挙	3件

委員会開催状況

委員会名		会議日数
常任	総務企画	12日
	福祉病院	13日
	環境教育	13日
	経済建設	13日
	東岡崎駅周辺整備検討	8日
特別	公共交通対策	6日
	防災防犯対策推進	7日
	防災基本条例設置	1日
	行財政改革調査	2日
	決算	5日
議会運営	14日	

議案・請願・陳情審議結果 12月定例会

(○賛成、×反対)

採決結果	会派別賛否			
	自民清風会	ゆうあい21	公明党	
件 名				
市長提出議案				
岡崎額田地区広域市町村圏協議会の廃止に関する協議	可決	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(学区市民ホーム)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(市民会館、甲山閣及びせきれいホール)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(竜美丘会館)	〃	○	○	○
市の特定の事務を取り扱わせる郵便局の指定	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(福祉の村)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(総合老人福祉センター及び美合高齢者生きがいセンター)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(花園高齢者生きがいセンター)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(地域福祉センター)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(ふれあいデイサービスセンター)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(母子生活支援施設及び母子寡婦福祉会館)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(学区こどもの家)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(千万町茅葺屋敷)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(勤労文化センター)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(市民休養施設桑谷山荘)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(くらがり溪谷レクリエーション施設)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(農林産物等展示即売施設)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(農村婦人の家)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(農村環境改善センター)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(中山間地域農村活性化施設)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(基幹集落センター)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(木材処理加工施設)	〃	○	○	○
市道路線の廃止	〃	○	○	○
市道路線の認定	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(岡崎公園)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(南公園)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(岡崎中央総合公園)	〃	○	○	○
公の施設に係る指定管理者の指定(地域交流センター)	〃	○	○	○
手数料条例の一部改正	〃	○	○	○
事務分掌条例の一部改正	〃	○	○	○
印鑑登録条例の一部改正	〃	○	○	○
総合老人福祉センター条例及び地域福祉センター条例の一部改正	〃	○	○	○
動物総合センター条例の一部改正	〃	○	○	○
児童厚生施設条例の一部改正	〃	○	○	○
廃棄物の減量及び適正処理に関する条例の一部改正	〃	○	○	○
地区計画の区域内における建築物制限条例の一部改正	〃	○	○	○
狭あい道路の拡幅整備に関する条例の一部改正	〃	○	○	○
消防本部及び消防署の設置等に関する条例の一部改正	〃	○	○	○
火災予防条例の一部改正	〃	○	○	○
消防団条例の一部改正	〃	○	○	○
豊富運動場条例の廃止	〃	○	○	○
平成22年度一般会計補正予算(第4号)	〃	○	○	○
平成22年度市民休養施設桑谷山荘特別会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○
平成22年度下水道特別会計補正予算(第2号)	〃	○	○	○
平成22年度農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	〃	○	○	○
平成22年度国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	〃	○	○	○
平成22年度後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	〃	○	○	○
平成22年度介護保険特別会計補正予算(第2号)	〃	○	○	○
平成22年度額田北部診療所特別会計補正予算(第1号)	〃	○	○	○
平成22年度病院事業会計補正予算(第2号)	〃	○	○	○
平成22年度水道事業会計補正予算(第2号)	〃	○	○	○
損害賠償の額を定めること	〃	○	○	○
平成22年度一般会計補正予算(第5号)	〃	○	○	○
議員提出議案				
切れ目ない中小企業支援及び金融支援策を求める意見書の提出	可決	○	○	○
請 願				
障がい児保育の環境整備を求めること	採択	○	○	○
住宅リフォーム助成制度の創設を求めること	不採択	×	×	×
介護・福祉・医療など社会保障の施策拡充を求める意見書の提出	〃	×	×	×
陳 情				
保育制度改革に関する意見書提出を求めること	意見を付して議長に報告することとした。			
障がい児保育にかかわる内規の見直しを求めること				
竜谷学区内への市営公園設置に関すること				
岡崎市議会議員の定数見直しを求めること				
岡崎市議会議員の公用出張等鉄道利用時のグリーン車使用の恒久的廃止を求めること				

一般質問

12月定例会では、17人の議員が市政について質問しました。
 なお、質問項目中、太字の項目を掲載しています。

- 柵木誠議員(無所属)
 - ・六ツ美西部学区の発展
 - ・頑張る元大関・琴光喜関
- 梅村順一議員(自民清風会)※
 - ・森林整備ビジョン
 - ・学校運営
- 木全昭子議員(無所属日本共産党)※
 - ・安心して老後を迎えられる市政
 - ・住民負担を軽減する制度の活用と充実
 - ・一人一人の子供に豊かな教育を実現すること
- 坂井一志議員(公明党)※
 - ・文化芸術振興策
 - ・食料・農業・農村基本計画
 - ・中心市街地活性化対策
- 中根勝美議員(自民清風会)※
 - ・建築行政
 - ・密集市街地の整備促進
- 加藤義幸議員(自民清風会)※
 - ・市有財産
 - ・中心市街地活性化
- 柴田敏光議員(ゆうあい21)※
 - ・本市における市有地

市政のここが聞きたい

- 熱中症対策
- 災害の備え
- 環境
- 原田範次議員(ゆうあい21)※
 - ・市の財政状況
- 岡崎の教育
- 文化施設
- 野村康治議員(無所属)※
 - ・農業政策
 - ・市民病院の対応
- 井手瀬絹子議員(公明党)※
 - ・子育て支援
 - 鳥獣害対策
 - ・買い物弱者対策
 - ・救急医療情報キット配布事業
- 村越恵子議員(公明党)※
 - ・福祉の村基本計画策定の推進
 - ・障がい児(者)施策の充実
 - ・市営住宅施策
 - ・空き家等対策
 - ・ジェネリック医薬品の利用を促進する「差額通知」の取り組み
 - ・期日前投票時宣誓書の手続簡素化
- 鈴木雅子議員(無所属日本共産党)※
 - 地域経済の振興
 - ・まちづくり条例
 - ・来年度予算編成
- 大原昌幸議員(無所属)
 - ・国民年金
 - ・人事
 - ・行財政改革
- 野澤幸治議員(ゆうあい21)※
 - ・平成23年度予算
 - ・中心市街地
 - 総合駅構想
- 加藤学議員(ゆうあい21)※
 - ・入札制度と公契約条例
 - ・国民健康保険の広域化
 - ・雇用の安定と創出
 - 占部川流域の浸水対策
 - 稲垣良美議員(自民清風会)※
 - ・無形民俗文化財
 - 吉口二郎議員(自民清風会)※
 - ・東公園動物園と動物総合センター
 - ・PFI
 - ・学校給食センター

※印がついている議員は、一問一答方式で質問し、※※印がついている議員は、一括質問一括答弁、一問一答方式を併用して質問しました。印のついてない議員は、一括質問一括答弁方式で質問しました。



上和田交差点

六ツ美西部学区の発展

■ 柵木 誠 (無所属)

問 県道岡崎桜井線の上和田西交差点では南への渋滞が長く、約400mに渡り信号機がないが、交差点の環境改善について見解は。また、県道岡崎刈谷線の上和田交差点について、南北の市道に広い道路幅員があり、右折矢印信号新設の交差点改良が可能と考えるが見解を伺う。

答 上和田西交差点は、通勤時間帯を中心として度々渋滞が発生している。信号機は公安委員会が所管しており、市としては地元要望を受け以前から設置を要望しているが、道路横断者は常時

集中して見られず、逆に交通渋滞の悪化が予想されることから現在設置には至っていない。今後も地元と連携を図りながら要望していく。また、上和田交差点については、右折車線を増設し右折矢印信号を設置することで渋滞解消の効果は大きいと考えられるが、大規模な交差点の改良工事が必要となること、現在の市道用地では幅員が不足すること、公安委員会等との協議が必要なことなど多くの課題がある。直ちに事業化することは難しいと考えるが、地域の意見を聞きながら改めて検討したい。

森林整備ビジョン

■梅村 順一 (自民清風会)

問 あいち森と緑づくり事業が市内でも積極的に進められている中、本市が目指す100年後の望ましい森林の姿を示す構想が作られることとなったが、その策定の必要性について伺う。

答 本市は、平成18年1月の旧額田町との合併により、地域の60%を森林が占めることとなり、また、水道水源としての乙川流域のすべてが市域となった。しかし額田地域を中心とする人工林は、林業の低迷により手入れが十分に行き届いていないのが現状である。この状況を打開するには、人工林での間伐や里山林の手入れ、

広葉樹の植栽を積極的に進めて健全な森林づくりを行う必要がある。そして、森林所有者だけでなく、市民一人ひとりが森林の恩恵を十分に認識し、この貴重な財産を後世に受け継いでいかなければならない。そこで、本市の森林・林業の現状と課題を明らかにし、市民や行政、関係団体の協働による森づくりの指針として、100年後の森林と、林業の在るべき姿、将来像と森林整備の方向性や取り組みを示した森林整備ビジョンを策定するものである。

安心して老後を迎えられる市政

■木全 昭子 (無所属・日本共産党)

問 特別養護老人ホームの入居希望者が1797名ということだが、第5期介護保険事業計画での施設設計画について伺う。また、18年の介護保険制度の改正によるホテルコストの導入で、生活保護など低所得者の施設利用が



難しくなったと思われるが、利用できるベッド数は。また愛厚ホーム建て替え後の多床室の確保は。

答 第5期介護保険事業計画で、国は在宅介護の限界点を高め、地域包括支援システムを作っていく方針であり、施設はそれを補完する位置付けになると考えている。本市としては国の方針、

県の整備計画との整合性を考慮しつつ第5期の保険料などを総合的に判断して施設整備計画を立てていく。低所得者の入居について、生活保護受給者は多床室、80万円以下の国民年金受給者は多床室あるいは従来型個室への入居が可能と考えられ、市内の特別養護老人ホーム807床のうち、多床室は328床、従来型個室は102床となっている。また、愛厚ホームの建て替えにおいては、運営上支障がない限り多床室を残してもらえるよう要望している。

文化芸術振興策

■坂井 一志 (公明党)

問 図書館交流プラザリぶらに於いて、最先端の生涯学習、文化施策を展開する生涯学習都市・岡崎を実現すべきと考えるが、生涯学習機能の現状について伺う。また、岡崎のジャズを岡崎ブランドとして高めることが必要と思うが見解は。更によりぶらの今後の在

り方について伺う。

答 本市では、市民による市民活動団体による、りぶらまつりなどが行われている。市民一人ひとりの学ぶ意欲を育み、行動へとつながる生涯学習施策を推進する。

ジャズについては、ジャズコンサートや小中学校を対象とした出前講座、一般市民向けの入門講座などを開催しジャズの浸透を図っている。日本のジャズ史の研究活動を行う特色ある図書館として、民間とも連携して内田ジャズコレクションを生かした岡崎ブランド化に努力する。今後は、りぶらで多くの市民が文化芸術や市民活動にかかわり住みよいまち岡崎を育てていく場として、また、思いを現実にしていく場所として、岡崎のまち育ての中心施設と位置付けていきたい。

建築行政

■中根 勝美 (自民清風会)

問 建築基準法施行規則の一部改正により、指定道路図及び指定道路調書を作成、保存し、閲覧に供することが必要となったが、整備の進捗状況及び完成予定について伺う。また、指定道路図の整備に関して異議がある場合、その申し立ての方法についても伺う。



答

指定道路に関する業務の進捗状況については、平成20年度に旧岡崎地区の既存の道路データに基づく予備調査を行い、21年度は旧額田町の都市計画区域編入予定地区の予備調査・現地調査・指定道路図等の作成、及び矢作北地区の現地調査・指定道路図等の作成、22年度は矢作北地区を除く旧岡崎地区の現地調査を実施している。完成は23年度末を目標としているが、旧岡崎地区全域を対象とした道路等のデータと現地との不整合部分の調整や、それぞれの道路状況に対応した判定措置等を行う必要があるため、閲覧時期については未定である。異議申し立ての方法等については、特に決めているが、通常業務の中で道路相談を実施し、その中で意見等を聞いている。

市有財産

■加藤 義幸 (自民清風会)

問

当初の利用目的がなくなつた市所有の土地や建物などの普通財産は次の目的が決まるまでの期間や、所管・所属換えの時期がまちまちである。期間を定めて利用目的を決定し、速やかに所管・所属換えを行い、利用目的が決まらないものについては一括管理する事で売り払いも含めた対応がスピーディーに行えると思うが、その必要性に対する考えは。

答

普通財産の有効活用を図ることは、厳しい財政状況の下で歳入確保の観点からも極めて重要なことである。そのためには市全体での土地利用や公共施設の配置など総合的な視点も不可欠であり、利活用の明確なルール化が必要であると考ええる。そこで、新たな庁内の会議を立ち上げ意思決定を行うとともに、新年度からは新しく設ける組織で公有財産の包括的な管理を担い、財源の確保としての売却や貸し付けなど公有財産の効率的な運用を図りたい。特に処分に関しては、スピード感を持って事務処理に当たることが必要であり、目標年次を定めて進めていくなど新組織により取り組んでいきたい。

熱中症対策

■柴田 敏光 (ゆうあい21)

問

今夏のような猛暑では冷房のない小中学校での授業への支障が懸念されるが、学校独自で行っている熱中症対策について伺う。また、バザーの収益等で扇風機を購入する学校もあると聞くが、学校任せではなく市として全教室へ天井扇を設置する考えは。

答

各学校においては、熱中症があるという認識で、毎年6月ごろより対応している。各学校における具体的な対策としては、体調が悪くなった場合の早めの申し出の指導、体温調整がうまくできない子の健康観察の徹底、急な体温上昇を防ぐためのこまめな水分補給、熱中症についての基礎的な知



岡崎の教育

■原田 範次 (ゆうあい21)

問

環境教育プログラムの中の自然調和型社会の分野により強い問題意識を持つために、大規模校と小規模校が姉妹校になり、3年生から5年生までの間に市内留学期間を1年間設けてスクールバスで送迎し、自然に恵まれた教育の場に立ち会わせることにより、その場でなければ感じ得ない体験ができると思うが見解は。

答

学校教育は、子どもの心構えを大切にしなければ成り立たず、市内留学を行う大規模校、小規模校の子どもや家庭の思いも十分に考慮しなければならぬ。更に、小学校期における学校教育は、身近な地域や生活に根差した学習を行っており、題材とする内容の多くが家庭や普段の生活と強

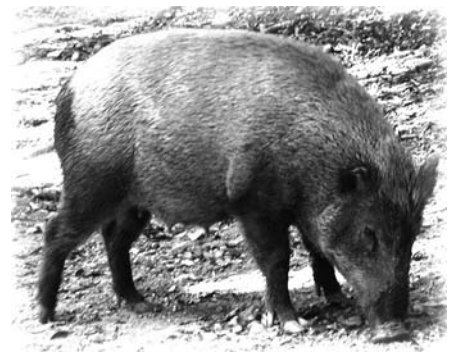
く結びついているため、カリキュラムも交流に合わせて変更が必要になる。他にも姉妹校で条件を合わせなければならぬ施設面での問題に加え、地域との連携面からも様々なかかわりを大きく見直す必要が出てくる。こうした現状から義務教育の9カ年は、家庭と地域、学校が一体となった学区制に基づく教育を進めていくことが健全な育成に適していると考ええる。

農林業政策

■野村 康治 (無所属)

問 平成20年度より国が実施している鳥獣被害防止総合対策に対して県下において本市だけが申請をしておらず、実施主体となる鳥獣害対策地域連絡協議会を設置していない。この協議会を設立しなかった理由と、今後協議会を設立する考えについて伺う。

答 本市の鳥獣害対策は、捕獲業務と防護柵等補助業務の2本柱で行ってきたため、協議会の設立による事業を行ってきていない。しかし、国において鳥獣被害緊急総合対策が23年度に実施される予定であり、新たに有害鳥獣の出没しにくい環境整備に取り組みするため、22年度中に協議会を設立し、被害防止計画の見直し及び事業計画の策定を早急に行い、国の事業採択を受けられれば23年度か



ら事業を行う予定である。事業内容は、地域集落の農地と山すそとの間の緩衝帯整備と、その周辺を鉄製のさくで仕切りを設置する事業を考えている。事業費の財源としては、国の補助金が半額、残りを市費と地域が負担することを考えている。進入防止を自力で施工する場合は資材費相当の定額補助が可能である。

鳥獣害対策

■井手瀬 絹子 (公明党)

問 有害鳥獣捕獲業務は岡崎猟友会に委託しており、捕獲の強化に協力してもらい感謝している。会員の高齢化が進んでいるようであるが、現在の会員の状況について伺う。また、銃やわなの免許取得には高額な費用と時間が掛かり、銃の購入も自己負担である。有害鳥獣対策について地域の

担い手育成と捕獲体制整備として免許取得者の育成支援は喫緊の課題であり、早急に助成を行うべきと考えるが見解は。

答

岡崎猟友会の会員数は、現在194名で、そのうち有害鳥獣の捕獲業務を行っている会員が114名おり、その中で65歳以上の会員が49名である。猟友会会員の高齢化による会員数の減少については、今後、有害鳥獣の捕獲業務を行っていく上で大きな課題となるため、狩猟免許保持者の確保が重要であると認識している。また、地域の住民が、地元のためにも免許を取り、捕獲を行うことも支援していきたいと考えている。そのためにも本市では、狩猟免許取得などのための補助を合わせて行っていくことも現在検討している。

ジェネリック医薬品の利用を促進する「差額通知」の取り組み

■村越 恵子 (公明党)

問 ジェネリック医薬品の利用は患者負担の軽減や医療保険財政の健全化に資することから、国は利用促進への積極的な取り組みを求めている。本市の国民健康保険の財政状況から見ても利用促進を図るべきと考えるが、現況と今後の取り組みについて伺う。

答

本市では22年度、ジェネリック医薬品の説明や医療費削減について記載したパンフレッ

トを医療費通知に同封し、普及啓発を図った。また、22度中には具体的な普及促進策として、医療機関や調剤薬局に提示するためのジェネリック医薬品希望カードを医療費通知に同封し、利用促進を図っていく。今後の取り組みについては、愛知県国民健康保険団体連合会において、レセプトの電子化を含む国保総合システムが23年度より稼働するが、その中でジェネリック医薬品に切り替えた場合に見込まれる自己負担軽減額を知らせる差額通知書が作成できるようになり、本市としても被保険者の負担額の軽減や医療費抑制による保険財政の改善につながるため、対象者に差額通知書を発送していきたい。



医薬品

地域経済の振興

■鈴木 雅子(無所属・日本共産党)

問 世界同時不況以来、ダンピングによる落札率の低下が顕著に見られる。入札の中で工事の種別ごとの最低落札率について伺う。更に、落札率の低い工事について調査をしていると聞か、その内容は。また、ダンピングにより労働者の賃金や労働条件が切り下げられ、下請けの労働者にそのしわ寄せが行かないために、公契約条例の制定をすべきと考えるが見解は。

答 平成21年度の主な業種の最低落札率については、土木工事が50・6%、建築一式工事が67・1%、電気工事が26・2%、管工事が54・8%、舗装工事が65・4%、水道施設工事が55・3%、とび・土木工事が56・9%、造園工事が64・7%となっている。落札率が75%未満の工事については、担当事業課と技術管理課の検査員によって工事の概要、施工内容、下請内容、安全管理等の施工体系点検をチェックリストにより特別に実施している。また、公契約条例については、国が法整備をもって当たるべきものであると考えており、今後の国の動向を注視していきたい。

人事

■大原 昌幸 (無所属)

問 本市職員の昇任試験の概要について伺う。また、国において再就職等監視・適正化委員会が設置され、国家公務員の民間企業への再就職の監視等が行われるが、本市においても、職員OBによる口利き等の防止を目的に民間企業への再就職先を把握すべきと考えるが見解は。

答 現在実施している昇任試験は、採用時の事務員・技術員から主事・技師に昇格するための「主事・技師昇任試験」、副主幹経験年数2年以上(試験実施年度の翌年度4月1日現在)を経過する事務及び技術職員が対象となる「課長候補者選定試験」、消防



人事課窓口

士長から消防司令補に昇任するための「消防司令補昇任試験」の三つである。また、本市の定年退職者に対する再就職策は、地方公務員法に基づく再任用のみで、22年度当初は154人を再任用した。民間企業への再就職については、16年度以降、紹介やあっせんは全く行っておらず、市としては関与していないため再就職の状況は把握していないが、今後、民間企業等への再就職が増加してくるようであれば検討する。

総合駅構想

■野澤 幸治 (ゆづあい21)

問 現在の名鉄岡崎公園前駅と愛知環状鉄道の中岡崎駅周辺は、愛知万博や純情きらりで整備が進み、奇麗で落ち着いた雰囲気を出しているが、更に充実を図るために、総合駅への推進を第6次総合計画の基本計画に組み入れることができるか伺う。

答 二つの駅は交差をしているという条件に恵まれ、岡崎公園や八丁蔵通りなどの観光名所があり中心市街地に近いといったすばらしい場所、これまで駅前広場を始め、駐輪場や駐車場の整備、バスの乗り入れなど、鉄道駅の結節点として利便性の確保に努めている。現況について、乗客数は20年度で両駅合わせて2752

人であり、利用者は年々増加しているが、総合駅等について試算をしたところ、最低で35億円の事業費が見込まれ、その実現には鉄道事業者との合意形成や費用負担などの大きな課題があると理解している。今後、総合駅について、現在重点活性化地区として整備を進めている名鉄東岡崎駅に続く課題として、長期的な視点で総合計画の中に位置付けていくことが必要だと考える。

占部川流域の浸水対策

■加藤 学 (ゆづあい21)

問 六名地区に新設予定である(仮称)六名ポンプ場のこの川への排水について、河川管理者である県との協議状況と事業実施



占部川下流の改修状況

手続きの状況について伺う。また、地元等への理解や協力の状況について伺う。

答

六名地区に雨水ポンプ場を設けて乙川へ排水することは、県と協議の結果、乙川の河川計画に大きな影響を与えるものではないとして、河川管理上差し支えない旨の回答を得た。懸案であった乙川への排水が認められ、事業化に向けて大きく前進した。今後は、乙川の排水樋管の新設による河川法の占用許可等の手続が必要となり、詳細な場所、構造等について引き続き協議を進めていく。また、農地を縦断する管渠の埋設に要する用地取得に関して地権者等の了解を得て、都市計画決定及び下水道事業認可等の手続を進める。地元総代や一部関係住民、用地提供の協力をお願いする下地地区の生産組合長等に対しては、浸水対策の基本的な考え方や計画の説明を行い、早期着工を望む声が大半を占めており、一定の理解を得たと考えている。

無形民俗文化財

■稲垣 良美 (自民清風会)

問

平成21年度に悠紀の里整備基本構想を策定しているが、市民の貴重な税金を使って行う事業であることを念頭に入れ、不必要な規模にせず、華美なものは避

けるとともに、現在の厳しい財政や経済状態を勘案し、十分精査の上事業を進めてほしいと考えるが、見解を伺う。

答

悠紀の里整備基本構想は、当該事業の基本的な方向性を示したものと考えており、市民検討会議など各方面の意見を参考に必要な修正を行っていく。六ツ美地区の民族文化財を継承していく上でこの事業は重要だと考えているが、事業の優先順位も含めて財政状況を勘案しながら十分検討を加え、更に施設については華美な内容にならないように進めていきたいと考えている。文化施設を造ったからといって、直ちに効果が見えてくるわけではないが、地元の人たちが一丸となって悠紀の里整備を推進しており、今後も活動内容を含め、文化財を保護、伝承していく場として、将来的に多くの人が訪れる魅力的な場所となっていくかなければならないと考える。

東公園動物園と動物総合センター

■吉口 一郎 (自民清風会)

問

動物総合センターの特徴と今後の展開について伺う。また、体験を重視した学習プログラムが想定される子ども科学館の構想に、動物との体験学習を組み入れるべきと考えるが見解は。

答

動物総合センターは、動物に関する相談に対しワンストップサービスを提供することを目的に、犬猫などのペットに関する事項、東公園動物園の管理運営、産業動物の診療、野生動物の保護業務などの窓口を一元化した施設であり、動物愛護思想の普及啓発拠点、動物に関する教育学習拠点を目指し事業を展開している。今後は、館内での教育的取り組みを充実させるとともに、学校などへのふれあい教室の開催回数を増やしていく。また、子ども科学館は子どもたちのための体験学習機能をメイン機能と考えている。具体的には、科学体験機能、自然体験機能、理科学習支援機能がある。動物の生態を学ぶことや動物と触れ合うことは重要な自然体験の一つと考えており、子ども科学館での疑似体験と動物園での実体験を融合させるなどして科学の目と豊かな心を育みたい。



動物総合センター

委員会の活動(10月~11月)

常任委員会	総務企画委員会		福祉病院委員会	
	10月27日	広報広聴業務	10月14日	特別養護老人ホームの現状
特別委員会	環境教育委員会		経済建設委員会	
	10月26日	学校教育、消防行政	10月27日	商工振興計画(素案)
特別委員会	東岡崎駅周辺整備検討特別委員会			
	11月4日	東岡崎駅バリアフリー化工事		
議会運営委員会				
	11月4日	11月臨時会の運営	11月19日	12月定例会の運営

※常任・議会運営・特別の各委員会は11月15日の臨時会に併せて正副委員長の互選を行いました。

3月定例会予定

2月25日(金)	請願・陳情締切
3月1日(火)	開会・市長提案説明
2日(水)	代表質問
3日(木)	代表質問
4日(金)	平成23年度議案説明
9日(水)	平成23年度議案総括質疑・委員会付託
10日(木)	平成22年度議案説明・質疑・ 委員会付託省略・討論・採決
14日(月)	経済建設委員会
15日(火)	福祉病院委員会
16日(水)	環境教育委員会
17日(木)	総務企画委員会
24日(木)	議会運営委員会
28日(月)	委員長報告・質疑・討論・採決・閉会

○代表質問の通告内容は、開会日までにホームページに掲載します。(アドレスは下段に掲載)

○開会、代表質問、閉会の模様は、ケーブルテレビミクスで中継放送を、議案説明を含む本会議の録画映像をインターネットに掲載する予定です。

○各会議の開催時刻は午前10時の予定です。

議会を傍聴してみませんか

本会議や委員会の傍聴は、入口で住所・氏名をご記入いただくだけでですので、お気軽にお越しください。(本会議場は西庁舎3階、委員会室は西庁舎2階です。)

3月定例会の予定は上記のとおりです。



◎議会の日程、傍聴、請願・陳情などに関する事項は、議事課(☎23-6378)までお問い合わせください。

議会ダイヤル ☎

自民清風会	☎23-6390
ゆうあい21	☎23-6394
公明党	☎23-6396
無所属	☎23-6397
無所属	☎23-6385・6405
議会事務局	☎23-6377

公の施設に係る指定管理者の指定議案24件を始め動物総合センター条例や消防団条例の改正、国の円高・デフレ対策に対応した一般会計補正予算など市民生活に欠かせない多くの議案を審議し可決しました。これらの主な内容を掲載し、お届けします。

政府などへの意見書

議会の意思を表明するため、次の意見書を可決し、直ちに議長が関係機関へ提出して、その趣旨の実現が図られるよう要請しました。

●切れ目ない中小企業支援及び金融支援策を求める意見書の提出

◎提出先 内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、
経済産業大臣

採 択 請 願

●障がい児保育の環境整備を求めることについて

就園の段階で障がい児保育の相談に乗ってもらえる公的窓口がなく、障害児の親は困窮している。相談窓口の設置を要望する。

◎処 理 議会の意思を表明するため、同趣旨の要望書を関係機関に提出しました。

●詳しく知りたいかたへ●

本会議の詳しい内容を知りたいかたは、市役所東庁舎2階市政情報コーナーか図書館、または各支所にある会議録をご覧ください。

12月定例会の会議録は2月下旬に配本予定です。なお、岡崎市議会ホームページにも会議録を掲載しています。

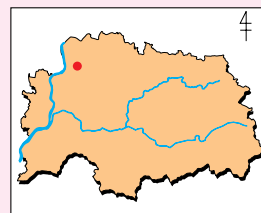
(アドレスは下段に掲載)



編集後記

新年を迎え、早くも1カ月が過ぎました。昨年の11月に議会の各種役職が改選され、12月定例会は新しい役割の下で運営されました。

○奥殿陣屋では、赤と白の葉ボタ1310株を使って、今年の干支のウサギをあしらった巨大絵が公開されています。かわいいウサギのデザインは2月末ごろまで楽しむことができます。



表紙の写真 …奥殿陣屋…